



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 アズマハウス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3293 URL <https://azumahouse.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 行男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 真川 幸範 TEL 073-475-1018
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,441	△3.6	555	△3.6	542	△3.2	367	3.2
2022年3月期第2四半期	6,682	5.7	576	17.0	560	19.2	355	0.4

(注)包括利益 2023年3月期第2四半期 348百万円 (△8.6%) 2022年3月期第2四半期 381百万円 (11.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	45.80	45.73
2022年3月期第2四半期	44.29	44.21

(注)当社は、2022年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	30,837	15,818	51.3
2022年3月期	31,326	15,800	50.4

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 15,818百万円 2022年3月期 15,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2023年3月期	—	17.50	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2022年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2023年3月期(予想)の配当金については、当該株式分割後の配当金の額を記載しております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,650	5.3	1,220	2.3	1,190	1.2	778	2.9	96.84

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2022年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、当該株式分割後の株式数により、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	8,063,400 株	2022年3月期	8,063,400 株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	95,756 株	2022年3月期	29,256 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	8,019,701 株	2022年3月期2Q	8,034,144 株

(注)当社は、2022年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2022年11月14日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の「第7波」として猛威をふるい、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、原材料の価格高騰に加え、円安による為替相場の変動など国内外の景気については、依然として不安定な状況が続いております。

当社グループの不動産・建設事業においては、「こどもみらい住宅支援事業」などの住宅支援策に支えられる中、顧客ニーズを徹底的に追及し、営業活動に取り組むと共に、工程管理を徹底し、原価管理および品質管理を行い、新規契約の獲得、利益確保に努めてまいりました。

不動産賃貸事業においては、当社グループが保有する自社物件及び管理物件の安定的な収益を維持しております。アライアンスの強化および拡大を図り、新規顧客の獲得および管理サービスの充実を図ることで新規物件の獲得に努めてまいりました。

土地有効活用事業においては、不動産賃貸事業との事業間シナジー効果を十分活用し、安定的な賃貸経営の事業提案を行い、売上高の増加となりました。

ホテル事業においては、感染症流行前の水準までの回復には至りませんでした。感染防止対策の徹底を行いつつ、商品やサービスの見直し、品質の向上と原価管理を行った結果、売上高、セグメント利益の増加となりました。

このような環境の中、当社グループは、「より大切に、より迅速に、全てはお客様のために」をモットーに、商品の品質、性能、お客様への対応、サービス向上は無限と考え、徹底してこだわり、顧客満足度No. 1企業を目指し、企業価値の最大化を図ってまいりました。また、お客様及び従業員の安全を最優先事項と捉え、感染症防止対策を講じてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は6,441百万円（前年同期比3.6%減）、経常利益は542百万円（前年同期比3.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は367百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ489百万円減少し、30,837百万円となりました。

流動資産については、前連結会計年度末に比べ597百万円減少し、9,921百万円となりました。固定資産については、前連結会計年度末に比べ108百万円増加し、20,915百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ507百万円減少し、15,018百万円となりました。

流動負債については、前連結会計年度末に比べ916百万円減少し、4,094百万円となりました。固定負債については、前連結会計年度末に比べ409百万円増加し、10,923百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ17百万円増加し、15,818百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,087百万円減少し、2,829百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、180百万円の収入（前年同期は123百万円の収入）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益542百万円、非資金取引である減価償却費210百万円、支払利息79百万円及び前受金の増加額65百万円であります。主な減少要因は、棚卸資産の増加額214百万円、法人税等の支払額209百万円、利息の支払額79百万円及びその他の支払いの減少額260百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、510百万円の支出（前年同期は431百万円の支出）となりました。主な減少要因は、有形固定資産（主として賃貸用不動産）の取得による支出495百万円及びその他の支出15百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、757百万円の支出（前年同期は22百万円の支出）となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入1,631百万円及び社債の発行による収入200百万円であります。主な減少要因は、長期借入金の返済による支出1,370百万円、短期借入金の純減少額880百万円、配当金の支払額281百万円及び自己株式の取得による支出49百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日付「2022年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,032,495	3,965,722
売掛金	30,953	33,758
販売用不動産	3,975,018	3,995,899
未成工事支出金	903,179	1,278,823
貯蔵品	9,550	10,879
その他	571,320	639,509
貸倒引当金	△2,720	△2,627
流動資産合計	10,519,796	9,921,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,012,791	5,987,823
土地	13,582,424	13,631,058
その他（純額）	134,466	232,315
有形固定資産合計	19,729,683	19,851,197
無形固定資産		
のれん	341,029	322,409
その他	47,390	44,229
無形固定資産合計	388,420	366,639
投資その他の資産	688,900	697,320
固定資産合計	20,807,003	20,915,158
資産合計	31,326,800	30,837,124

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,656	16,272
工事未払金	521,894	523,290
短期借入金	1,627,951	747,900
1年内償還予定の社債	-	40,000
1年内返済予定の長期借入金	1,865,982	1,795,344
未払法人税等	223,921	196,303
賞与引当金	67,744	86,310
その他	688,379	689,455
流動負債合計	5,011,529	4,094,876
固定負債		
社債	250,000	410,000
長期借入金	9,642,045	9,942,145
資産除去債務	76,417	77,222
繰延税金負債	18,164	17,586
その他	527,828	476,748
固定負債合計	10,514,456	10,923,703
負債合計	15,525,985	15,018,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	596,763	596,763
資本剰余金	536,445	536,445
利益剰余金	14,643,746	14,729,885
自己株式	△19,518	△69,450
株主資本合計	15,757,436	15,793,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,377	24,900
その他の包括利益累計額合計	43,377	24,900
純資産合計	15,800,814	15,818,544
負債純資産合計	31,326,800	30,837,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	6,682,366	6,441,304
売上原価	4,449,963	4,194,766
売上総利益	2,232,402	2,246,538
販売費及び一般管理費	1,655,893	1,690,759
営業利益	576,509	555,778
営業外収益		
受取利息	184	134
受取配当金	5,578	6,332
受取手数料	32,804	30,724
解約金収入	5,160	10,412
受取補助金	13,854	8,135
その他	19,107	18,187
営業外収益合計	76,689	73,926
営業外費用		
支払利息	87,651	79,957
その他	5,123	7,407
営業外費用合計	92,775	87,365
経常利益	560,423	542,339
特別利益		
固定資産売却益	-	161
特別利益合計	-	161
特別損失		
固定資産除却損	670	0
特別損失合計	670	0
税金等調整前四半期純利益	559,753	542,501
法人税、住民税及び事業税	188,568	182,115
法人税等調整額	392	△6,948
法人税等合計	188,960	175,167
四半期純利益	370,793	367,334
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,959	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	355,833	367,334

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	370,793	367,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,002	△18,476
その他の包括利益合計	11,002	△18,476
四半期包括利益	381,795	348,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	366,836	348,857
非支配株主に係る四半期包括利益	14,959	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	559,753	542,501
減価償却費	207,393	210,896
のれん償却額	18,619	18,619
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,350	△92
受取利息及び受取配当金	△5,762	△6,467
支払利息	87,651	79,957
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△402,105	△214,309
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,260	2,012
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25,377	18,565
固定資産除却損	670	0
前受金の増減額 (△は減少)	△68,465	65,695
固定資産売却損益 (△は益)	-	△161
前払金の増減額 (△は増加)	△74,708	6,734
その他	22,822	△260,921
小計	376,156	463,030
利息及び配当金の受取額	5,762	6,467
利息の支払額	△87,878	△79,114
法人税等の支払額	△170,243	△209,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,798	180,877
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△422,785	△495,235
有形固定資産の売却による収入	-	161
その他	△8,686	△15,627
投資活動によるキャッシュ・フロー	△431,471	△510,701
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△280,891	△281,360
長期借入れによる収入	1,430,000	1,631,050
長期借入金の返済による支出	△1,191,568	△1,370,837
社債の発行による収入	-	200,000
社債の償還による支出	△49,980	-
自己株式の取得による支出	-	△49,932
短期借入金の純増減額 (△は減少)	74,701	△880,051
その他	△5,028	△6,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,767	△757,551
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△330,441	△1,087,375
現金及び現金同等物の期首残高	3,630,119	3,916,819
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,299,677	2,829,444

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年8月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式66,500株の取得を行ったことで、当第2四半期連結累計期間において自己株式が49,932千円増加しました。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症に関する主要な仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。